

# 「能と俳句の共通点」対談

尾道 黛まどかさんと大島姉妹



日本文化について語り合う黛さん（左）と大島衣恵さん（中）、文恵さん姉妹

06/01/29 読売新聞

back

大学講座「能と俳句の共演  
日本の伝統・文化にふれ  
よう」（尾道市教委主催）

が28日、尾道市東御所町の  
しまなみ交流館で開かれ、  
市民ら約600人が3人が  
語る能と俳句の世界に聞き  
入った。

黛さんが選んだ小学生  
俳句コンクールの入賞者  
11人を表彰し、衣恵さん  
が入選作に節をつけた小  
謡を同市立長江小児童が  
披露した後、対談に移り、

黛さんが「17文字の俳句  
は世界で一番短い文学。  
研ぎ澄まされた能の動作も  
無駄がない」と話すと、衣  
恵さんも「能は少ない動作  
で存在感をいかに表現でき  
るかがポイント。俳句と似  
ている」と共通点を説明し  
あった。

長江小児童に小謡を指導  
した文恵さんは「子どもら  
の俳句や小謡は古里の思い  
出が詰まったもの。能を知  
るきっかけとして良かった」と意義を強調。最後に  
黛さんが「俳句でも新しい  
ことに挑戦しながら古いも  
のを守りたい」と日本文化  
の担い手として意気込みを  
見せた。

俳人の黛まどかさんと能  
の喜多流大島家の能楽師大

島衣恵さん、妹の能楽講師  
・文恵さんが対談する市民